

# M 日本史問題

## 注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は12ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

### マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきらずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文1～5を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 3世紀前半～中頃にかけての日本について記述した(イ)には、「牛・馬・虎・豹・羊・<sup>かきまど</sup>鶴はいない」とあり、この頃の日本列島には馬は棲息していなかったと考えられている。日本列島では人類が誕生した(ロ)を5つに区分したときの、中新世の地層からウマ科の動物の化石骨の出土例があるが、縄文・<sup>1)</sup>弥生時代のものと推定できるものは出土していない。おそらく、ウマ科の動物たちは寒冷な氷期に絶滅し、<あ>世になって海面が上昇し大陸から切り離されて日本列島が成立したあと、大陸から移入されることはなかったのであろう。その後、馬との関わりを示す日本列島最古級の考古学遺物には、前期古墳の中で最大の規模をもつ(ハ)の周壕から出土した木製輪鏡があるが、鉄製の武器・武具や馬具の副葬例が増加するのは古墳時代中期になってからである。現在の在来馬にいたる日本の馬は、この頃に乘馬・飼養技術とともに持ち込まれた家畜馬が起源であると考えられている。
2. 『日本書紀』によれば、天智天皇の死後、その子の<い>皇子と天智天皇の弟の大海人皇子とのあいだで皇位継承をめぐる争いがおこった。<う>宮を出奔して奈良の吉野にいた大海人皇子は、伊賀国を經由して<sup>2)</sup>神社に参拝し、<え>国に向かってそこを本拠地とした。そして奈良で苦戦する味方に、騎兵一千の援軍を送っている。この記事に見るように、当初の馬は、儀礼用を含む軍事利用が中心であったと考えられている。一方で、646年の「改新の詔」には駅馬・伝馬の設置が命じられており、公的通信手段としての馬の利用も意図された。馬の飼養について「大化改新」より<sup>3)</sup>前の詳細は不明であるが、養老令制下では、武官の人事と軍事全般を掌る<お>省が牧をつかさどり、国司のもとで官吏がその経営にあたって、国ごとに設置された(ニ)に供給する馬匹や駅馬・伝馬の増殖を図ることが規定された。万葉集には、「赤駒を山野にはがし捕りかにて多摩の横山徒歩ゆか遣らむ(赤駒を山や野に放って捕まえかね、多摩の横山を徒歩で行かせるのか)」という歌が採録されている。この歌は、現在立教大学池袋キャンパスのある令制の<か><sup>4)</sup>国豊島郡の宇遲部黒女が防人として赴任する夫に向けて755年に詠んだもので、民間における馬の飼養の一端を表している。やがて平安時代初期には(ニ)の制度がほぼ崩壊して官営牧は3つに再編され、さらに摂関家をはじめ貴族や寺社が私牧を経営・領有するようになった。

3. 奈良時代には、5月5日の節会に、馬の走行速度や騎手の乗馬技術・作法を競う競馬くらべうまと呼ばれる宮中行事が騎射とともにおこなわれ、平安時代中期には行宮かりみやや貴族の邸宅、神社の境内などでも競馬が行われるようになった。<sup>5)</sup>(ホ)が編纂した『和名類聚抄』には、馳射を「オムモノイル＝追物射」であるとしているが、これはのちに笠懸・くききとともに騎射三物と称された犬追物にあたる。また藤原道長は氏神を祀る奈良のくくく参詣の折に競馬を開く慣例をつくり、行幸などを口実に自ら競馬を主催して、藤原実資の『(ヘ)』のなかで非難されている。

4. 9世紀から10世紀にかけて各地で紛争が発生し、地方豪族や農民は武装するようになる。政府は鎮圧のために中・下級貴族や有力武士を(ト)などに任じた。やがて彼らは成長し、各地で争乱を引き起こした。この頃までは、馬上からの弓射が戦場での重要な戦力であったと考えられているが、やがて戦法などの変化によって、騎射の優位性は徐々に低下していった。契機となったのは鎌倉時代の蒙古の襲来や、甲斐国を支配した戦国大名であるくけけと織田信長が戦った長篠の戦いであつたといわれている。ところで、出土する骨から推定される近世以前の馬の体高は120~140cm程度で、小柄であることに注意しなければならない。160~170cmほどの現在の競走馬は、明治以降の計画的な馬匹の改良によるものであつた。

5. 1866年に外国人居留地に娯楽施設として建設された横浜競馬場(根岸競馬場)は翌年から競馬に使用され、東京日比谷にイギリスの建築家であるコンドルの設計で建設されたくこことともに、外国人接待の社交場として利用された。明治天皇はこの競馬場へ盛んに巡幸したが、領事裁判権の撤廃等を内容とする改正条約が施行された1899年を最後に、赴かなくなった。また明治政府は、軍用馬匹の改良のために1896年に種馬牧場および種馬所の官制を公布した。さらに、北清事変や日露戦争によって軍馬の質や数が大幅に劣っていることが露呈すると、イギリスの仲介でオーストラリアから3700頭あまりの馬を輸入した。このような、強力に推し進められた洋種の種牡馬導入・国家管理などの馬匹改良によって、在来馬は激減することになったのである。

A. 文中の空所(イ)～(ト)にあてはまる適当な語句を、それぞれ対応する次の a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- |     |                |               |        |         |
|-----|----------------|---------------|--------|---------|
| (イ) | a. 稲荷山古墳出土鉄剣銘文 | b. 『漢書』地理志    |        |         |
|     | c. 高句麗広開土王碑文   | d. 『三国志』魏書東夷伝 |        |         |
| (ロ) | a. 第一紀         | b. 第二紀        |        |         |
|     | c. 第三紀         | d. 第四紀        |        |         |
| (ハ) | a. 大阪府・大仙陵古墳   | b. 岡山県・楯築墳丘墓  |        |         |
|     | c. 奈良県・箸墓古墳    | d. 福岡県・岩戸山古墳  |        |         |
| (ニ) | a. 衛門府         | b. 軍団         |        |         |
|     | c. 弾正台         | d. 防人司        |        |         |
| (ホ) | a. 在原業平        | b. 三善為康       |        |         |
|     | c. 源順          | d. 慶滋保胤       |        |         |
| (ヘ) | a. 禁秘抄         | b. 古今著聞集      | c. 小右記 | d. 東関紀行 |
| (ト) | a. 押領使         | b. 郷司         | c. 御内人 | d. 目代   |

B. 文中の空所<あ>～<こ>それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～8)にそれぞれ対応する次の問 1～8に答えよ。解答はそれぞれに与えられた a～d から 1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この時代に関する記述として正しいのはどれか。

- a. 沖縄を含む南西諸島では、貝などの採取に依存する縄文文化が展開した
- b. 陸稲耕作を基礎として金属器・黒い硬質土器などをともない、薩南諸島から東北地方まで栄えた
- c. 紡錘車を用いて苧かろしや麻を素材にした機織がおこなわれ、後期には絹布も織られた
- d. 北海道では、農耕を行わずサケ・マスなどの採取に依存する擦文文化が展開した

2. この神社は、大王家の祖神を祀る神社として整備された。それはどれか。

- a. 出雲大社
- b. 伊勢神宮
- c. 大神神社
- d. 住吉神社

3. この時期に関する記述として正しいのはどれか。

- a. 豪族に奉仕する技術者集団が、国造として編成された
- b. 豪族は名代・子代などの地方官に任じられた
- c. 蘇我・物部などの、血縁等を基礎とした政治的集団である氏が大王を補佐した
- d. 大王は、連・朝臣などの八色の姓を授与した

4. この年の政治状況に関する記述として正しいのはどれか。

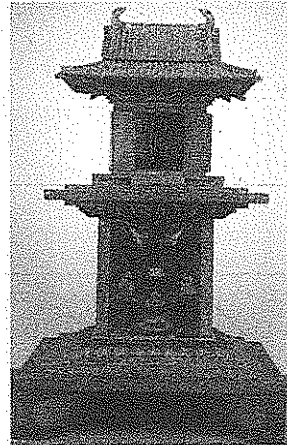
- a. 光明皇太后と結んだ藤原仲麻呂が、政界で勢力をのばしていた
- b. 天然痘が大流行し、政情不安のなかで橘奈良麻呂が挙兵した
- c. 道鏡が、唐から帰国した吉備真備と玄昉を重用した
- d. 長屋王が右大臣となり、田地の不足を解消するための法を制定した

5. この時代の美術作品はどれか。

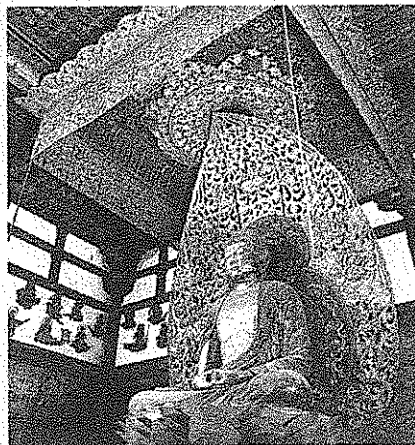
a.



b.



c.



d.



6. これに関する記述として正しいのはどれか。

- a. 平貞盛らは、瀬戸内海の内海を率いて反乱をおこした藤原純友を討った
- b. 平将門は東国の大半を占領して新皇と自称したが、藤原秀郷らによって討たれた
- c. 源義家は、下総を拠点に争乱をおこした平忠常の乱を鎮圧した
- d. 源満仲は清原氏一族の内紛に介入し、藤原清衡をたすけてこれを平定した

7. この時代の建築物はどれか。

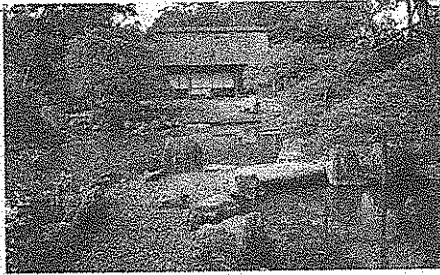
a.



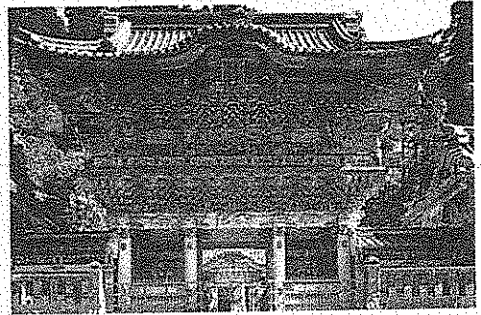
b.



c.



d.



8. この年に刊行されたのはどれか。

- a. 河上肇『貧乏物語』
- b. 小林多喜二『蟹工船』
- c. 太宰治『人間失格』
- d. 横山源之助『日本之下層社会』

Ⅱ. 次の文1～7を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. 18世紀後半にアリューシャン列島に漂着した伊勢の船頭（イ）は、日本がロシアとの関わりをもつきっかけを作った人物として有名である。彼は江戸に向かう途中嵐にあい、ロシア人に救助された後、首都ペテルブルクで女帝に謁見した。1792年、ロシア使節は彼を伴って根室に来航し、通商を求めたのである。幕府はその要求を拒否し、長崎入港を許可する信牌を与えた。1804年には別のロシア使節が長崎に来航し、改めて通商を求めたが、幕府は要求を再び拒否した。

ロシアの南下は、幕府の蝦夷地、北辺の防備への関心を高めた。すでに老中（ロ）は18世紀後半、最上徳内を派遣し、蝦夷地を探検させていた。幕府はさらに（ハ）に樺太とその対岸を探查させ、彼は樺太が島であることを確認した。幕府はまた、1799年に東蝦夷地を、1807年には蝦夷地すべてを直轄にし、松前奉行の支配のもとにおいた。日露関係はその後、幕府によるロシア軍人の監禁事件を契機にひとまず改善され、幕府は蝦夷地を松前藩に還付した。

19世紀半ば、アメリカ海軍の示威行動を前に、幕府は開港を余儀なくされた。その直後、長崎を訪れたロシアの使節と日露和親条約を結んだ。この条約は日米和親条約とほぼ同様の内容であったが、下田など3港の開港、樺太の両国人雑居を約し、（ニ）島ウルップ島間を国境とした。ロシアと幕府はさらに1858年に日露修好通商条約を結び、懸案の国境問題については、明治政府がくあ>年に樺太・千島交換条約を結び、樺太全島をロシア領、千島全島を日本領とすることを明確に定めた。

2. 近代日本とロシアの関係は警戒と猜疑に彩られていた。1891年、訪日中のロシア皇太子が警察官により負傷させられた大津事件<sup>2)</sup>の背景には、国民の根強い対露恐怖心があった。日本はまもなく、朝鮮をめぐる対立で清国との戦争に入り、勝利を収めたが、ロシアが日清講和後、三国干渉を主導したばかりか、清より旅順・大連の租借、東清鉄道の敷設権を獲得し、さらに（ホ）事件を利用して中国東北部（満州）全域を事実上占領したことは、日本の対露敵愾心を煽った。日露は朝鮮半島をめぐる確執を深めた。

日本政府内では、いわゆる「満韓」交換による日露協商論とロシアの南下に対抗するための日英同盟論が対立したが、（ヘ）を首班とする内閣は後者を選択し、英国と同盟協約<sup>3)</sup>を締結した。国内では近衛篤磨らを中心とする（ト）、東京帝国大学などの七博士が対露主戦論を唱え、世論に影響を与えた。日本は最終的に1904年2月、ロシアに宣戦を布告した。日本は緒戦で勝利を収めたものの、ロシアに決定的な打撃を与える

ことはできず、戦争の長期化に苦しんだ。そのため、翌年春の日本海海戦での勝利を契機に、アメリカに調停を依頼した。一方ロシアでも革命運動がおこるなど、国内の政情は極めて不安定であり、アメリカの調停の申し入れを受け入れた。講和条約は1905年9月にポーツマスで結ばれ、その結果、日本は大陸進出の重要な拠点を得た。

3. 皮肉なことに、日露関係は日露戦争後、好転した。日露両国はアメリカが積極的な満州進出をはかることを警戒し、協力してアメリカに対抗しようとしたからである。日本政府はいったん、アメリカの鉄道王（チ）による南満州鉄道へのアメリカ資本導入案に同意したが、ポーツマスから帰国した外相（リ）の反対でこの同意を撤回した。日露は1907年の第1次協約で、南部満州の日本権益と北部満州のロシア権益を相互承認し、その後の第2次協約、第3次協約でさらに関係を強化した。第一次世界大戦中に結ばれた第4次協約は、事実上の攻守同盟に発展した。<sup>4)</sup>

4. 日露関係はロシア革命を機に暗転した。日本政府は社会主義革命を警戒し、軍部ではシベリア出兵論が高まった。1918年、シベリアにいた（ヌ）軍將兵の救援を名目にアメリカが共同出兵を提唱すると、首相（ル）は同調し、約7万人の軍隊をシベリア・北満州に派遣した。第一次世界大戦が終結し、列国は支援する反革命勢力が敗退するや、軍隊を撤収した。これに対して日本は駐留を続けたが、高まる国際的な批判を前に撤兵を声明し、1922年にシベリアから軍隊を引き揚げた。

5. 日本とソ連はく い >年に日ソ基本条約を結び、国交を樹立したものの、両国の関係は不信と緊張に満ちたものであった。とくに日本が1930年代前半に建設した傀儡国家「満州国」がソ連、モンゴルと国境を接すると、日ソ間では軍事紛争が頻発した。1939年春に始まった交戦は大規模な武力衝突に発展し、日本軍は大きな損害を被った。日本政府は当時、ドイツの申し入れで、ソ連を対象とする日独防共協定の強化を交渉していたが、この軍事衝突のさなかに、ドイツはソ連と不可侵条約を結んだ。内閣は事態の急変に対応できず、退陣した。<sup>5)</sup>

6. ソ連との関係は（ヲ）が外相に就くと、新たな段階に入った。彼は1941年春にベルリン、ローマを訪れ、帰途に立ち寄ったモスクワで日ソ中立条約に調印した。<sup>6)</sup>6月にドイツが不可侵条約を破りソ連に侵攻すると、日本政府は南進も北進もおこなえるよう準備する方針を決定し、関東軍は特種演習の名目でソ連に軍事的圧力をかけた。



7. 日本政府は太平洋戦争末期、中立関係にあったソ連に対して英米との和平交渉の仲介を依頼する構想を抱いた。しかしソ連は英米と協力してドイツと戦っており、1945年8月、日ソ中立条約を破棄して、満州、朝鮮、樺太、千島列島に攻め入った。ソ連は終戦後、数十万の日本人将兵を領内に強制連行し、重労働を課した。ソ連は、東京に設置された連合国軍最高司令官の諮問機関である（ワ）の一員であったが、占領政策について実質的な発言力はなかった。日本はくう>年9月、サンフランシスコ平和条約と日米安全保障条約<sup>7)</sup>を結び、国際社会への復帰を果たしたが、ソ連は平和条約に調印しなかった。日本がソ連との国交を回復するのは、1956年<sup>8)</sup>に首相が自ら訪ソし、ソ連政府首脳との交渉の結果、日ソ共同宣言<sup>9)</sup>に調印したことによる。

A. 文中の空所(イ)～(ワ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の空所<あ>～<う>にあてはまる適当な数字を、それぞれ対応する次のa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

<あ> a. 1870      b. 1875      c. 1880      d. 1885

<い> a. 1923      b. 1925      c. 1927      d. 1929

<う> a. 1949      b. 1951      c. 1953      d. 1955

C. 文中の下線部1)～9)にそれぞれ対応する次の問1～9に答えよ。解答はそれぞれに与えられたa～dから1つずつ選び、その記号をマークせよ。

1. この人物は誰か。

a. ゴローウニン      b. ラクスマン      c. レザノフ      d. ロバノフ

2. この事件の責任をとり、辞任した外相は誰か。

a. 青木周蔵      b. 伊東巳代治      c. 榎本武揚      d. 副島種臣

3. これに関する記述として正しくないのはどれか。

a. 第2次協約で、同盟の適用範囲を拡大し、インドをも含めた

b. 第3次協約で、アメリカは同盟の適用外となった

c. 日英同盟は九カ国条約の結果、廃棄された

d. 日本は日英同盟を理由に、第一次世界大戦に参戦した

4. この大戦中の日本の出来事に関する記述として正しいのはどれか。
- a. 石井・ランシング協定はアメリカのフィリピン統治と日本の韓国指導権を相互承認した
  - b. 第一次護憲運動が始まり、大正政変がおこった
  - c. 第2次大隈重信内閣は段祺瑞政権に巨額の借款を与えた
  - d. 本格的な政党内閣である原敬内閣が成立した
5. この内閣の首相は誰か。
- a. 阿部信行      b. 近衛文麿      c. 平沼騏一郎      d. 米内光政
6. この年の日米関係に関する記述として正しいのはどれか。
- a. アメリカは日米通商航海条約の廃棄を通告し、対日経済制裁に乗り出した
  - b. アメリカは盧溝橋事件以前の状態に戻すことを要求する通牒（ハル＝ノート）を提示した
  - c. 日本軍が北部仏印に進駐すると、アメリカは対日石油禁輸、在米日本資産の凍結をおこなった
  - d. 日本政府は帝国国策遂行要領を定め、対米交渉不首尾の場合に対米開戦にふみ切ることを決めた
7. これに関する記述として正しいのはどれか。
- a. アメリカ軍には日本防衛の義務があった
  - b. 条約にもとづき日米行政協定が結ばれた
  - c. 条約の期限が明記されていた
  - d. 日米の経済協力の促進が謳われた
8. この人物は誰か。
- a. 石橋湛山      b. 岸信介      c. 重光葵      d. 鳩山一郎
9. これに関する記述として正しくないのはどれか。
- a. 漁業条約の発効が盛り込まれていた
  - b. ソ連は日本の国際連合加盟支持を表明した
  - c. ソ連は平和条約締結後にいわゆる「北方四島」の返還を約束した
  - d. ソ連は抑留した日本人将兵の送還を約束した